

「平成30年7月豪雨を踏まえた治山対策検討チーム」の設置について

目的

- マサ土等の脆弱な地質地帯において、広範囲の地域に及んだ記録的な集中豪雨により、多数発生した山腹崩壊、土石流等の発生メカニズムを検証した上で、今後の効果的な治山対策の在り方を検討。

検討内容

- 平成30年7月豪雨による山地災害の現地調査（広島県、愛媛県）
- 関係資料の収集と発生メカニズムの分析
- 上記の調査結果を踏まえた、今後の効果的な治山対策の検討

〈検討体制〉

平成30年7月豪雨を踏まえた治山対策検討チーム

チーム長：森林整備部長

チーム員：治山課長（事務局）

整備課長

業務課長

施工企画調整室長

学識経験者等

提言（発生メカニズムの解明・効果的な治山対策）

今後のスケジュール（案）

7月 被害状況の把握と当面の対応の検討

7月中旬 検討チームによる現地調査

7月下旬 学識経験者等による現地調査

8月 現地調査の結果のとりまとめと発生メカニズムの分析

9月 対応方針案の検討

10月 学識経験者等による検討会の開催と提言

平成30年7月豪雨を踏まえた効果的な治山対策（中間とりまとめ）

集中豪雨災害を念頭に置いた治山対策の推進